

岐阜県の プラスチック

- ・金型工業組合と『新春講演会』『新年互礼会』を合同開催
- ・講演会『巨人性うつと阪神性不安』の要旨紹介
- ・ブロー成形と成形用金型・後期技能検定を実施
- ・平成21年のプラスチック製品製造出荷額は22.6%も激減
- ・平成23年度総会は5月25日（水）に開催

↓合同で開催した新年互礼会



新年初事業は金型工組と合同で開催

「講演会」社会病うつや不安解消策を話す

手携え業界の危機を乗り越ろう「互礼会」

岐阜県プラスチック工業組合は1月19日午後、岐阜グランドホテルで新年初事業『新春講演会』と『新年互礼会』を開催した。今回は例年と異なり、関連業界の岐阜県金型工業組合と合同で開催し、成形加工と金型加工の両工業組合は「手を携え、いぜん厳しい中小企業の経営危機を切り開いていこう」と、懇談・交流を深めた。

講演は大阪大学大学院医学系研究科・石蔵文信准教授の『巨人性うつと阪神性不安』というユニークなテーマ。講師は「社会に蔓延するうつ病や不安障害の事例と対策を紹介」し、従業員はもとより経営者にも欠かせないストレス解消策を話した。(要旨は6～7頁)



合同で開催した講演会と年頭あいさつをする児玉栄一理事長

両工業組合理事長が 業界の危機を訴える

新年互礼会は、関西仕込みの軽妙な石蔵講師の講演で湧いた後、パーティー会場へ移り秋田一郎金型工業組合理事の司会で開会した。秋田理事は「来賓、賛助会員、組合員ら総勢80人が集って開催できたことは、組合運営の将来に励みを感じた」とあいさつ。

続いて両工業組合を代表してプラスチック工業組合の児玉栄一理事長、金型工業組合の黒田隆理事長が共に業界の危機を訴え、新しい進路を示した。

さらに来賓を代表し、王志剛岐阜大学金型創成技術研究センター副長と山下典男岐阜県産業技術センター所長が、参加した両組合員を激励した。



山下技術センター所長の発声で乾杯

課題は景気と環境に

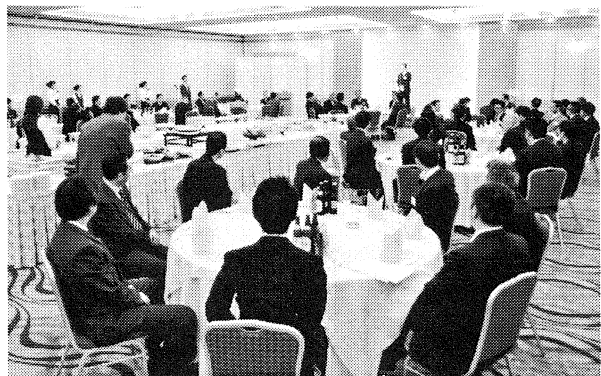
— 児玉栄一理事長が新年のあいさつ —

児玉栄一理事長は「切っても切れないプラスチック成形と金型の両工業組合が、合同で行事を開催できたことに心強く感じている。これを機に手を携え、新しい決意をもって組合運営を展開、立ち塞がる危機を切り開いていきたい」と前置きした後、

「プラスチック業界にはナフサに対する課税という新たな問題が発生している。法人税5%下げの財源探しから登場したナフサ課税政策で、実施されればナフサ価格は2倍に跳ね上がる。これでは日本の石油化学メーカーは、海外メーカーに太刀打ちできない。ナフサは樹脂の主原料。原油高騰に加え樹脂が課税によって急騰す

れば、成形加工業界は壊滅的な打撃を受ける。さらに見逃せないのは、景気動向の見通し。昨年10月から景気は踊り場に入り、上向きに転ずるといのが予測だった。ところが新年に入り顧客を回ってみると、上向く様子はどこにも見られず厳しくなるばかり。好転に向うという景気見通しは単なる予測に過ぎず、この先、まだまだ厳しい経営環境が続くことを肌を感じた」と現況を説明し、

「自社のブロー成形品は海外製品に比べて高い付加価値があると自負していたが、海外の評価は“汎用成形品では同等の品質、軽量化などの技術面ではむしろ負けている”という。日本では安全に安全にとばかり重量強度に気をとられている間に、海外企業は“汎用成形品では日本に教えられることはない”とする現地からの



パーティー会場では来賓、賛助会員、両組合員がテーブルを囲み和やかに交流と懇談

報告に安閑としておれなくなった。メイドインジャパンでがんばろうと言われるが、いつまで通用するのか改めて考えさせられた」さらに、

「成形加工業全体では環境問題がある。中でもCO₂排出削減には業界あげて取り組まねばならない。使用する素材を精査し、製品を植物由来の樹脂に置き換える必要もあるだろう。メイドインジャパンのものづくりを進める中で、特化の軸はここにあるようだ」と訴えた。

生き抜く道は海外へ

— 金型工組の黒田隆理理事長あいさつ —

金型工組の黒田理事長は「近年の金型業界も苦難の連続、この新年、景気の先行きが心配」と金型業界の問題点と課題を説明し、業界相互の協力と連携を次のように呼びかけた。

「金型業界は何が悪いこれが悪い、と言い合っても進まない状態にある。現実の円高や関連業界からの需要動向を見ると、業界の先行きはグローバル化を進めるより他に道はない。それには一つでも多くの情報をつかみ、アクションを起こすことが大切だ。その一つは“東南アジア圏は日本国内と同じ経済圏にある”と思



金型業界の現状と経営方針を説明する黒田隆理理事長

って、経営方針を定めねばならない」。

「タイ、台湾、インドなどへ海外進出した日系企業は進出後も施設の新増設を続けている。金型業界も海外進出メーカーに同調、決断しなければならないが、資本力に乏しい中小企業にとって実現は難しい。しかし、最悪の事態を予測すれば腕組みばかりしておれない。きっかけをつかみ、名古屋へ進出するぐらいの気持ちでアジア進出を図ってはどうか。これまでの日本の金型業界は裕福な温室育ち、台湾やタイのメーカーのようなハングリー精神で取り組まねば業界の明日はない」と言い切った。

「次世代に役立つ人材送る」王教授

この後、来賓代表の岐阜大学金型創成技術研究センターの王志剛副長は「岐阜大学の金型セ



懇談・交流で話が弾んだ互礼会のパーティー会場。最後は参加者全員で「一本締め」

ンターは国の助成金を得て研究事業を開始して5年を経過、今年度で終了する予定でしたが、大学と業界の援助を得て再出発することになった。取り組んできた研究事業により学生の金型への関心と興味は大きく高まり、大学を金型研究に特徴付けることができたからです。新年度からは業界へのアドバイスだけでなく、新しい金型技術の研究機関として企業をサポートしていきたい。同時に次世代に役立つ人材を育てて、地元の金型やプラスチック成形業界へ送り出したいので、両工業組合は協力してほしい」と、産学連携を呼びかけた。

「合同事業の成果に期待」 山下所長

最後に岐阜県産業技術センターの山下典男所長は「企業が経営戦略を立てるには、より多くの情報を得たり、先人の叡知を取り込み、議論していくことに意義があると思う。その意味からも開催された合同事業の成果を大いに期待している。また、両業界の理事長の話にあったように先を読めない時代に入り、企業経営は大変

新年度総会を開催

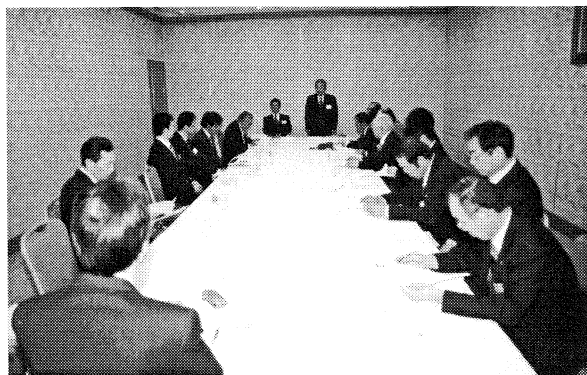
5月25日グランヴェール岐山で

工業組合は5月25日（水）に岐阜市内のグランヴェール岐山で『第43回通常総会』を開催する。総会のスケジュールは、午後3時30分に開会し、同5時から講演会、同6時から来賓を交えて交流親睦パーティーを予定している。

総会提出議案は①平成22年度事業報告と収支決算案②平成23年度事業計画と収支予算案③平成23年度賦課金及び納入方法④平成23年度取引金融機関及び借入金最高限度額—の4議案を審議する。続いて任期満了にともなう役員改選を行う。

総会案内文書は、講師選定など講演会の内容が決まりしだい発送する。

難しいものがあるが、産業技術センターあげて業界の役に立ちたい」と起立する一同を前に産官連携を強調し、乾杯の音頭をとった。



両工業組合が初の合同理事会開く

プラスチックと金型の両工業組合は新年互礼会に先だち、初の合同理事会（写真上）を開いた。会議は互礼会の議事進行を再確認した後、今後の合同事業のあり方を協議した。

「景気低迷と需要減」 8割が回答

全国中小企業の円高とデフレ影響調査

中小企業基盤整備機構と全国中小企業団体中央会は『円高とデフレに関する中小製造業への影響調査』を実施した。

その結果、経営上の大きな問題点として約8割の企業が「景気低迷による需要の減少」を訴え、約5割の企業が「売上単価の上昇難」をあげた。また「円高の影響」をあげている企業は全体の約3割だが、直接・間接に輸出業務を行う企業の約5割は「悪影響を受けている」とし円高が中小製造業の経営に深刻な影響を与えていることが明らかになった。

うつ病や不安障害は増えている

石蔵文信准教授 リハビリ出勤や仕事量を調整

新年初行事『新春講演会』は、大阪大学大学院医学系研究科の石蔵文信准教授（医学博士）を招いて『巨人性うつと阪神性不安』をテーマに開いた。講師は昭和30年生まれ、三重大学医学部卒後、国立循環器病センターなど医学関連施設で勤務後、大阪大学医学部、同大学院を経て、現在は同大学院の医療技術科学分野と機能診断科学講座の准教授として活躍されている。講演内容は社会に蔓延する「うつ病、不安障害、ストレス」の予防と対策、さらには経済人に欠かせない健康対策を判り易く話してもらった。次はその講演要旨。



石蔵文信講師

うつと不安の状態を判り易く

○…今日の演題は「巨人性うつと阪神性不安」です。なぜこんな古い話を持ち出したかというと、阪神が久しぶりに優勝した8年前、シーズン後半に巨人は最下位、阪神は1位を独走していた。

阪神は過去、優勝目前に何度も負けており「1位から滑り落ちないか」と「阪神ファンは不安」でたまらない。巨人ファンも、過去の連勝経験から1位でないと落ち着かない。最下位をあえぎ、当時の巨人ファンは「うつ状態」にあったという。

心身の疲れは「男性の更年期」

○…野球ファンを例にとり「うつと不安」の精神状態を解説、出版したのが『巨人性うつと阪神性不安』で、続いて『パンツの中の健康』『男もつらいよ！男性更年期』近年では『女房に捨てられないための中年力』をテーマにそれぞれ観点を換え、中高年男性の心

身の健康問題を取り上げてきた。

男性にも更年期がある。男性の特徴は攻撃性。男性ホルモン、テストステロンによるものだが、50歳を過ぎると戦いに疲れ「戦い続けるか」「休み休み軽くいくか」の境目に入っていく。戦ってきた男の一生も、定年や失職が重なると「ひきこもり」や「うつ病」になり不安を抱えて酒に溺れ「アルコール依存症」に、さらにはストレスが昂じ、高血圧などの「生活習慣病」に追い込まれる。

ましてや妻に先立たれたり、熟年離婚に遭遇すると「うつや不安」はなおひどくなる。心身ともに疲れ切った中高年男性の多くに生ずる心身状態が「男性の更年期」に当たる。

隠れている仮面うつ病に注意

○…経営者に知ってもらいたいのは職場のストレスやうつ。感染症ではないが「職場のうつはうつり」その経済的損失は大きい。職場が、うつ病者を抱えるとメンバーの助けが必要となる。それが過重労働になってグルー



←石蔵講師の新春講演会

プ全体へ広がり職場崩壊になりかねない。

ストレスがたまると、一般的には不眠などの睡眠障害が始まり、全身倦怠感、頭痛、胃痛などと、あらゆる身体症状が出てくる。症状に対応した診療を受けることになるが、うつ病の原因はいくら検査しても、異常は見つからない。こんな症状が続くと医師の診断を疑い、医療機関を渡り歩く「病院ショッピング」になる。うつ病が隠れている「仮面うつ病」になると、メンタル系の心療内科か精神科の分野に入ってくる。

微笑みタイプのうつ病もある

○…うつ病というと、一見して暗く、沈んでいる姿を想像するが、悩んでいないようなうつ病もある。まじめで責任感の強い人がうつ病になりやすいというが、そういう人はプライドが高く、周囲の人には判りにくい。これが「微笑みタイプのうつ病」である。

うつ病の原因は借金や親兄弟・親戚・友人の死という悲しいことばかりではなく、昇進や栄転など他人から見れば喜ばしいことも、心の負担となり病気になる。気分が落ち込んだ時、友人や上司に気楽に相談したり、症状が軽いうちに診察を受ければ改善する。ところが、うつ病になる人は責任感が強く、周囲につらいことを隠そうとするので、重症化するまで誰も気が付かないことが多い。

中高年男性はこの傾向が強く、医師でさえ

見誤ってしまう。上司や周りは「頑張ればなんとかなる」と励ますが、その裏には「死にたいほどつらいことがある」というメッセージが隠されている。こんなケースは悩みの相談に乗る姿勢を示すとか、解決困難な問題でも「愚痴を聞く」だけでも当人は気持ちが悪くなり、職場の人間関係は保たれてくる。

不安障害や新型うつ病も登場

○…うつ病もいろいろ。うつ病は周りの状況に関係なく、やる気が起きず気分が落ち込む。ゆとり教育やマニュアル重視が昂じ、うつと基本は同じだが見た目が違う「新型うつ病」が出てきた。新型は気分の落ち込み、やる気が周りの状況によって変化する。

うつ病に対し、増えているのが不安障害という病気。二つは重なり合い、メンタル治療の後にはリハビリ出勤、余裕をもった自己管理や回復後の仕事量調整が大切である。

うつ病は神経伝達物質のセロトニンなど脳内エネルギーが減少したり、機能低下が原因とされる。これを抗うつ薬などで脳のエネルギーや機能を回復させると、普段のように仕事ができる。十分に回復しないと再発するので、医師や上司はブレーキをかけることだ。

男性経営者へのメッセージに

中高年男性に多い「うつ病や不安障害」は克服するというより、気長にうまく付き合うことが大切な病気。私流に言えば「スローセラピー」である。10年前、縁あって「男性更年期外来」を担当し、中高年男性のいろいろな問題に対応してきたが、これは男性経営者へのメッセージとして受け取ってほしい。

『成形用金型』と『ブロー成形』の実技技能検定

コダマ樹脂(株)本社工場と国際たくみアカデミーで実施

工業組合は岐阜県職業能力開発協会から受託した『プラスチック成形用金型製作作業』と『ブロー成形作業』の技能検定実技試験を実施した。両職種とも平成22年度の後期技能検定で、金型製作は例年と異なり美濃加茂市にある岐阜県立国際たくみアカデミーで、また、ブロー成形は神戸町のコダマ樹脂工業(株)本社工場で実施した。

なお、実技検定の審査会は2月1日、学科試験は金型製作が1月30日(日)ブロー成形は2月6日(日)に実施され、3月15日(火)に合格者の発表が行われる。

円筒ボトル成形し計量

「ブローは1級3人2級6人が受検」

『ブロー成形作業』の受検者は1級3人、2級6人の合計9人。実技検定は予備講習会に続く1月25日から5日間、例年と同じコダマ樹脂工業(株)の本社工場で実施した。

検定は午前と午後に分かれ、試験内容は1級が4時間以内に『高密度ポリエチレンとポリプロピレンの2樹脂を用いブロー成形機で円筒ボトル(各50個)を製作、成形後に成形収縮率計算票及び材料歩留まり率計算票を作成』した。

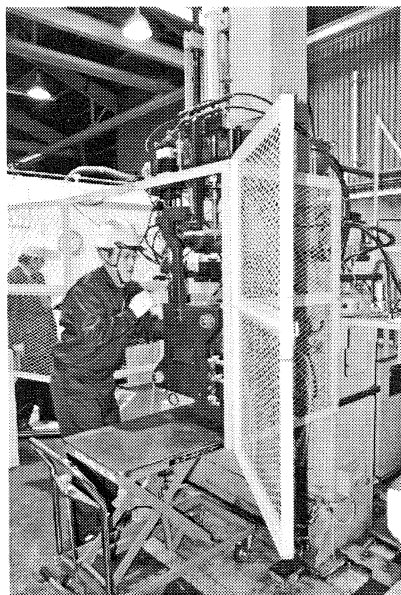
また、2級は3時間以内に『高密度、低密度2種類のポリエチレン樹脂を用い、ブロー成形

機で円筒ボトル(各20個)を製作』した。

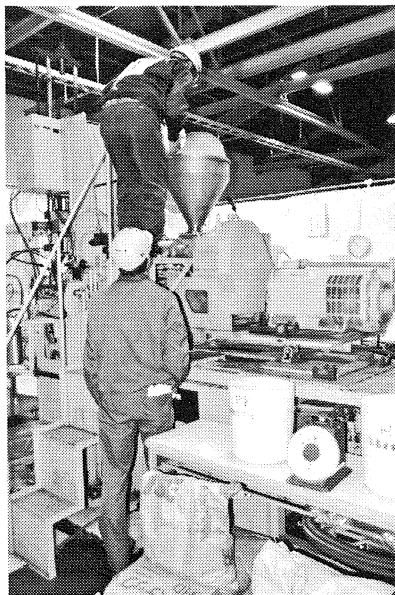
使用したブロー成形機は、口径50^{mm}の小型機種で、受検者は午前と午後に分かれ約430^{mm}入りのボトル(高さ213^{mm}、直径58^{mm})を製作した。受検者は成形作業開始に先立ち、成形機のヒーター、スクリュー回転、吹き込みノズルなどを順次、事前点検した。

0.5グラムの微調整に苦心する

課題の円筒ボトルは「成形後の重量が30^g、しかも ± 0.5 ^g以内の精度」で成形しなければパスしない。受検者は何度も圧力の微調整を繰り返し、1個ずつ計量器にかけて測定するなど、真剣な表情で作業を進めていた。



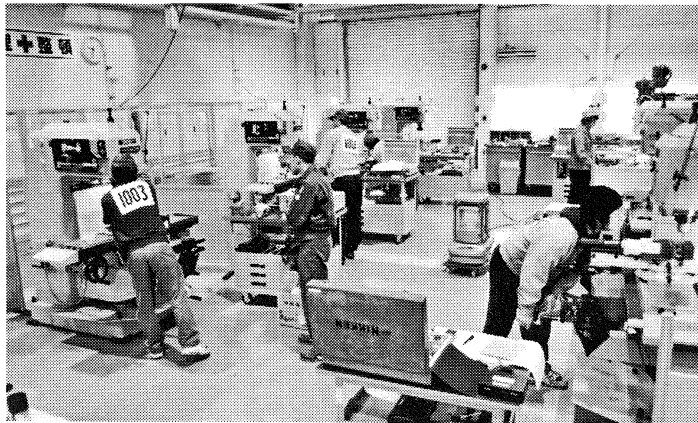
成形機に金型を取り付ける



2種の樹脂をホッパーへ投入



成形品の重さを厳しく検査



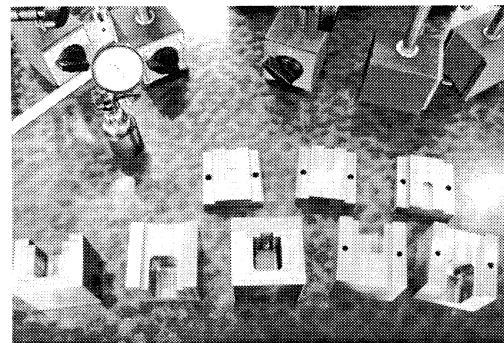
規定の精度で切削加工

— 金型受検者、1級1人2級5人 —

『成形用金型製作作業』の受検者は1級1人2級5人の計6人。検定は予備講習会に続く1月26日、国際たくみアカデミーにある職業能力開発短期大学の生産技術科で実施した。

検定内容は金型内に埋め込む「入れ子」の切削加工で、1級は『成形用金型に必要なテーパ加工、R加工、溝加工などの作業要素』を盛り込んだ課題を、フライス盤による手動操作と手加工で、規定の4時間30分以内に製作。また2級検定は『成形用金型に必要なR加工、溝加工などの作業要素』を盛り込んだ課題を、フライス盤の手動操作と手加工によって規定の4時間以内に製作した。

1、2級とも受検者は、作業開始の合図で開始し、課題の図面と照合しながら素材（鋼材S



↑金型製作の実技検定会場
←金型の「入れ子」を加工

50C) を切削加工し→仕上げ砥石で手加工→研磨紙で仕上げ→防錆処理を行ない完成した。

検定委員は機械操作にも目光らす

検定作業中は①工作物の位置替え時に刃物の回転を止めなかった②工作物を落とした③測定器や工具を放置したまま機械を運転した—などの場合は減点対象になるので、検定委員の目が光った。1級受検者は切削加工で「テーパ加工」に苦心し、2級受検者は「カッターマークを無くす」仕上げ工程で苦心していた。



岐阜県の国際たくみアカデミーとは

美濃加茂市にある国際たくみアカデミー（写真左）は平成16年度開校の職業能力開発短期大学校と同15年度開校の職業能力開発校を併設した全国初の教育訓練施設。大学校には生産技術科と建築科、開発校には自動車エンジニア科、設備システム科、住宅建築科の施設がある。

プラスチック製品製造業の実績

出荷額は3,718億円
前年の22.6%も激減

平成21年度の岐阜県工業統計から

深いリーマン・ショックのツメ跡

岐阜県の『平成21年工業統計』によると、県産業はもとよりプラスチック製品製造業界もリーマン・ショックに始まる世界同時不況のツメ跡は深かった。前年の平成20年に比べると、事業所数で9.5%減、従業者数で6.5%減、出荷額は22.6%、付加価値額では22.9%の激減ぶりで5年前・平成16年の業界規模へ逆戻りした。

事業所、従業者数とも減少

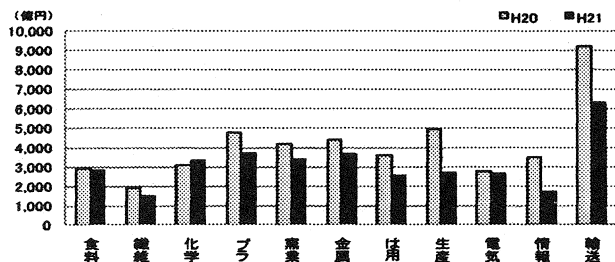
《事業所数と従業者数》従業者4人以上の県内プラスチック製品製造業は447事業所で前年の9.5%、47事業所も減少した。従業者数は1万4,948人で前年比1,043人、6.5%も減少した。従業者数は前回平成20年に2.4%減っているのに、今回はさらに大きく減少した。事業所の転廃業と出向・派遣社員などの引き揚げが重なった。

輸送用やフィルム類で激減

《製造品出荷額》プラスチック製品の年間製造品出荷額は3,717億8,400万円、前年比22.6%に当たる1,085億円も減少した。4半期ごとの生産指数をみると発泡プラスチック製品は増加したが、輸送用機器や機械器具向けの成形部品、フィルム類が激減した。

新産業分類によるプラスチック製品

主な産業別製造品出荷額等（従業者4人以上）



の業種別順位は、生産用機器が半減したため輸送用機器に次いで新産業分類の業種別2位へ順位を上げた。

1人当たり付加価値額は県平均割る

《付加価値額》製品の加工生産能力を示す付加価値額は1,263億6,400万円で前年比22.9%も減少した。1人当たり付加価値額は1千万円の大台を大きく割る845万円（県産業は855万円）にとどまり、業界の苦境を表わしている。

平成21年・岐阜県プラスチック業界の規模

◎事業所数＝447事業所

（前年比9.5%減、47事業所減）

（県産業に占める構成比は6.6%）

（新産業分類の業種別順位は第6位）

◎従業者数＝14,948人

（前年比6.5%減、1,043人減）

（従業者数の県産業構成比は7.9%）

（新産業分類の業種別順位は第5位）

◎製造品出荷額＝3,717億8,400万円

（前年比22.6%減、1,085億円）

（出荷額の県産業構成比は8.2%）

（新産業分類の業種別順位は第2位）

（1人当たり出荷額は2,487万円）

◎付加価値額＝1,263億6,400万円

（前年比22.9%減、375億円減）

（付加価値額の県産業構成比は7.8%）

（1人当たり付加価値額845万円）

（県産業1人当たり付加価値額855万円）

全員参加の提案制度から生まれるヒット商品

組合青年部が未来工業(株)の本社工場を見学

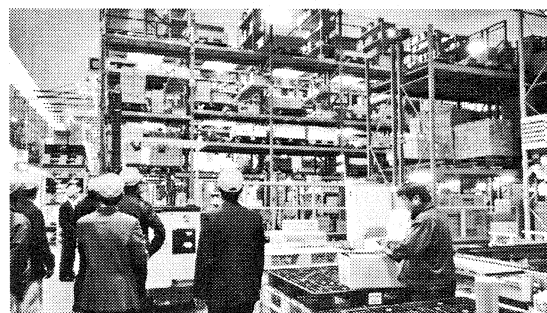
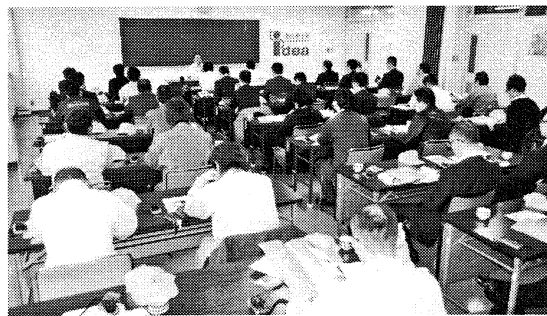
組合青年部（宇野兼史部長ら10人）は2月17日、県中小企業青年中央会が実施した『未来工業見学会』に参加した。未来工業(株)は全国に6工場をもち社員775人、電設資材など年間207億円を売り上げる。会社のモットー“常に考える”を実践するため、全員参加の提案制度やQC活動から相次いでオリジナル製品を生み、経営のあり方とともに話題になっている。

見学したのは輪之内町の本社工場で、最初に瀧川克弘社長から企業の生い立ちと経営方針を聞いた。この中で瀧川社長は「残業なし、年間休日141日は社員のヤル気を引き出すため…」と話し「そのヤル気を基に提案制度を実施、どんな提案・アイデアにも500円で買い上げ、採用すれば報奨金も付ける。昨年の改善提案は全社で13,962件一人平均17.5件、多い人は200件にもものぼった。この提案がヒット商品を生み続ける原動力になっている。ヒットのコツは提案そのままではなく、そのアイデアを基に幅広くユーザーの意見まで取り入れ、磨きをかけて市場へ送り出す」という。

最後に「経営方針が多くのメディアに取り上げられているが、業界を生き抜くため、他社のやらないことをやるんです」と言い切った。



主力となる電設資材の部品成形工場。全社で射出成形機236台、押出成形機114台が稼働する



瀧川社長の話を聞く一行

工場の各所に看板がある

自社開発の自動仕組み機

金型などのスライド倉庫

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□新年度の総会へ出席してください□

○…工業組合は5月25日（水）に岐阜市内のグランヴェール岐山で『平成23年度総会』を開催します。開会時間は午後3時30分で決算、事業計画、予算などの議案を審議した後、任期満了にともなう役員改選を予定しています。総会後には講演会や親睦パーティーを開きます。

開催文書を近く送りますので、開催日を予定し、ご出席ください。

□前期技能検定の受検者募集を開始□

○…工業組合は『平成23年度前期技能検定・プラスチック成形射出成形作業』の受検者募集を開始しております。工業組合への受検申請書提出期限は4月13日（水）です。

検定の募集内容や申請書などについては、工

業組合事務局へご連絡ください。

□インテックス大阪で中小企業総合展□

○…中小企業基盤整備機構は5月25日から3日間、大阪市住之江区にあるインテックス大阪で『中小企業総合展・関西』を開催します。

開催テーマは『商魂、燃えまっせ！大阪商いの陣』をキャッチフレーズに、新開発・新技術・新製品を中心に紹介し、企業間の取引推進やビジネスマッチングを図るのが目的です。

岐阜県のプラスチック 2011年 第203号

平成23年3月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
(岐阜産業会館4階)

電話 (058) 272-7173

FAX (058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大塚 忠秋

全てのニーズにお応えするJPP
技術力で信頼にお応えするJPP

Excellent Polypropylene

日本ポリプロ株式会社は、全てのお客様の信頼に広範かつ高度な技術力で適確にお応えしてまいります。

バテック®PP

卓越した材料設計技術で広範な応用分野のニーズにお応えするポリプロピレン

ウインテック®

独自のメタロセン触媒技術によって開発された新世代ポリプロピレン

ニューゴン®

当社独自の気相重合法によって制御された特異的な固体構造を有する新規ポリオレフィン系リアクターTPO

ニューストレン®

高い溶融張力を有し、大型ブロー、肉厚シート成形、異形押出成形が可能な高機能ポリプロピレン

ニューフォーマー®

高い溶融張力と歪み硬化性を有する発泡成形用ポリプロピレン

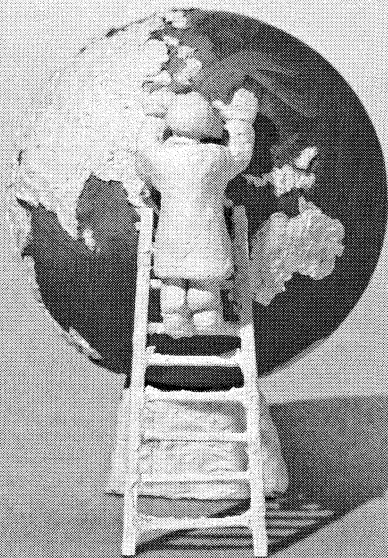
ファンクスター®

射出及び溶融圧縮成形向け高性能ガラス長繊維強化ポリプロピレン

 日本ポリプロ株式会社

〒108-0014 東京都港区芝4丁目14番1号 TEL03-6414-4500

地球快適化研究所。



20世紀から持ち越されたさまざまな問題を解決し、トータルなライフステージを快適化するのが21世紀の化学の仕事です。三菱化学グループは、世界でも比類のない幅広い技術フィールドをカバーする先端技術多面体です。先端機能材料やナノテクノロジー、有機エレクトロニクス、デバイス。ヒューマン・ヘルスケアでは、ゲノム創薬やタンパク質機能解析…など、多数の分野にチャレンジしています。私たちはグループの技術力をベースに、社会のニーズに応えるソリューションを提供しながら、21世紀の夢をスピーディに実現します。

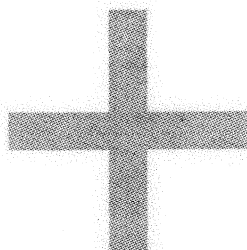
▲三菱化学株式会社
Telephone:03-6414-3000
URL:http://www.m-kagaku.co.jp

ShinEtsu

信越シリコーン

またひとつ、新機能。

[プラスアルファ]



ヒラメキを糧に新たな機能をプラス

信越シリコーン

「こんな素材があったらいいのに!」「こんな機能をプラスできれば!」…そんないくつものヒラメキに出会い、信越シリコーンはこれまでとは違う個性を持つ、新しい機能を付与した高機能シリコーン製品を開発してきました。これからも、さまざまなご要望にお応えし、お客様の製品に+αの付加価値をつけるシリコーンを提供してまいります。

【新しい機能で製品に付加価値をプラスするシリコーン】

■ 樹脂改質用シリコーン

オイル、パウダー、シランカップリング剤、レジンなど。樹脂に潤滑性・耐摩耗性、耐衝撃性・難燃性・成形性などの付与に
*取り扱いが容易で分散性に優れたシリコーンマスターバレットもあります。

■ シリコーン離型剤

オイル、ペースト、エマルジョン、スプレーなど。離型性はもちろん、つや出し、表面保護、潤滑性向上などに

■ シランカップリング剤

合成樹脂、塗料、接着剤などの機能向上に

■ シラン

セラミックスの合成、無機物質の表面改質、樹脂改質などに

信越化学工業株式会社

〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-5-28 近鉄名古屋ビル
名古屋支店 シリコーン部 (052)581-6515

雨水利用タンク

ホームダム

RWT-250

ご家庭で雨水の有効利用に!

異常気象からの水不足、あるいは集中豪雨…。水の大切さを見直す時が来ていると思います。自然のめぐみ雨水をもっと活かして使うことを考えましょう!!庭の草・花・木への水やり、洗車などまだまだたくさん活用出来ます。



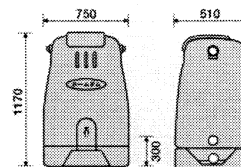
1 専用付属部品で簡単施工
(丸型トイレ用 55%・60%・75%)

2 ドレン付で簡単清掃

3 架台付きです
(別架台はオプション)

4 水道料金の節約
(例) 某市で料金200円/m³を納めている
ご家庭では、
・ホームダム1杯(250ℓ)約50円
・週に2杯溜めると約400円/月
・年間では約4,800円
が節約出来ます。

5 雨水タンク転倒防止用
リポート金具付です



■製品仕様

容量	250ℓ
重量	約22kg
材質	超高分子量ポリエチレン



コダマ樹脂工業株式会社

本社 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-4141 東京支店 〒104-0031 東京都中央区京橋1-16-10(オークビル京橋) TEL(03)3564-5266
 本社営業部
 容器包材G 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-4992 大阪支店 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2丁目5番2号(新サンケイビル階) TEL(06)6341-0015
 産業資材G 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-5055